

めでたく満100歳

佐藤 ヨシイさん(西勝田)、齋藤 豊さん(若宮)

この世に生を受けて一世紀。11月24日に佐藤ヨシイさん(西勝田)が、12月7日に齋藤豊さん(若宮)がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市からは賀寿、福島県からは賀寿と木杯が贈られました。佐藤さんの長寿の秘訣は「好き嫌いなく食べること」、齋藤さんの長寿の秘訣は「十分な睡眠と三度の食事は欠かさないこと」だそうです。佐藤さん、齋藤さんのますますのご長寿をお祈りいたします。



佐藤さん



齋藤さん

「戒石銘顕彰」に関する作文コンクール 戒石銘を世界へ

11月14日、第28回「戒石銘顕彰」に関する作文コンクール表彰式が行われました。応募された市内459点の作品の中から最優秀賞1点、優秀賞3点、入選7点の作品が入賞しました。

最優秀賞には、菅野真優子さん(二本松一中)の作品「戒石銘を世界へ」が、優秀賞には勝山結愛さん(安達中)、佐々木祐麗さん(二本松一中)、浦山暁太郎さん(小浜中)の作品が選ばれ、表彰式で作品が朗読されました。



前列左から3人目から順に、浦山さん、勝山さん、菅野さん、佐々木さん

春眠暁を覚えず 渋川小学校詩吟教室

11月27日、6年生の国語科で学んでいる漢詩の授業の一環として、地域の先生方をゲストティーチャーとして招き、詩吟教室が開催されました。

授業では、全国的に活躍されているゲストティーチャーの渡辺勇治先生、上田美次先生、佐藤正先生の詩吟を鑑賞しました。また、初めての詩吟に挑戦し、口の体操をしたり、吟譜の読み方を学んだりしました。そして、最後には、授業で学習した「春暁」を見事に吟じることができました。



農事功績表彰 安齋さん夫妻が緑白綬有功章を受章

大日本農会が主催する農事功績表彰の緑白綬有功章を受賞された安齋孝行さん、とく子さん夫妻(式部内)が、11月29日、市役所を訪れ受賞を報告しました。安齋さん夫妻は、効率的な養蚕経営を実現し、養蚕施設を活用した菌床シイタケの低コスト省力栽培技術を確立しました。また、孝行さんは、県指導農業士会長として、震災からの復興にも貢献されています。



公德心高揚運動

きれいな公園でおもてなし

11月9日、霞ヶ城公園、郭内公園、安達ヶ原公園にて、早朝から約1,200人の市民が参加し、都市公園清掃が行われました。当日は晴天となり、清掃用具を片手に各会場に集合した参加者の皆さんは、心地よい朝日を浴びながら、本格化する秋の観光シーズンに訪れる人を温かく迎えるため、広い公園内の落ち葉やごみを協力しながら清掃しました。



第31回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝) 昨年より順位上回り、総合7位!

11月17日、第31回「ふくしま駅伝」が開催され、白河市総合運動公園から福島県庁までの16区間(94.8km)に53チームが参加して行われました。

今回の二本松市チームは力のある1区、2区の高校生ランナーが好順位に付け、その後も経験豊富な社会人・大学生ランナー、初出場の中学生4人が奮起し、見事、昨年の順位を一つ上回る総合7位でゴールしました。

力走する選手に温かい声援ありがとうございました。



「新しい東北」の実現へ

すべてがつながり、人が流れるまちづくり

復興庁「新しい東北」復興ビジネスコンテストでJTB賞を受賞した「ふくしま農家の夢ワイン株式会社」の皆さんが、12月4日、市役所を訪れ、受賞を報告しました。コンテストでは、「ワイナリーから始まる食・人・農のあるまちづくり事業」が、かつて養蚕を行っていた遊休農地を活用したブドウ栽培や、廃業した稚蚕施設の一部を改修したワインカフェなど、地域にあるものを生かした交流拠点づくりに貢献したことを評価されての受賞となりました。



国指定重要無形民俗文化財『木幡の幡祭り』

初冬の青空にはためく五反幡

天喜3年(1055年)の「前九年の役」に由来する伝統の祭り『木幡の幡祭り』が12月1日、開催されました。出立前には、重い五反幡を持ち全力疾走する幡競争も行われ、氏子や子どもたちにより、熱い走りが繰り広げられました。この後、各堂社(集落)の幡持ちが、白装束に烏帽子姿で、白幡や色とりどりの幡を翻しながら初冬の木幡山を練り歩きました。

